

第73期 報告書

2019年4月1日 » 2020年3月31日



ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご支援ご高配を賜り心より御礼申し上げます。

さて、当社第73期事業年度を終了いたしましたので、当連結会計年度における営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調にありましたが、第4四半期以降、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大・長期化の影響により、経済活動は大きく制限され、景気不振リスクの高まりから減速傾向が強まり、先行きの不透明感が一層強まるものとなりました。

当社グループの主要取引先である外食・中食産業におきましても、原材料価格の上昇や人手不足による人件費の高騰、消費税増税の影響などに加え、感染症対策に起因する営業自粛の影響など、厳しい経営環境となりました。このような環境の中で、当社グループの当連結会計年度の売上高は163億99百万円（前年同期比4.6%減）となりました。利益面では、営業利益3億1百万円（前年同期比8.5%減）、経常利益3億59百万円（前年同期比7.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1億50百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

次期の見通しにつきましては、感染症の世界的な拡大・長期化により世界経済の行方に不透明感が漂い、外食・中食産業におきましても営業の自粛や営業時間の短縮、設備投資の抑制や延期など、収束時期も不透明なことにより事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に算定出来ない状況です。

このような経営環境の中で当社グループは、業務用厨房機器業界の発展の一翼を担う企業としての自負を基本に、既存取引先との更なる信頼関係を築きつつ、同業他社との差別化を図った高付加価値商品の販売推進を軸として、お客様に喜んでいただける魅力のある商品をラインナップし提供することを使命とし、市場ニーズの多様化にも柔軟に対応出来る積極的な営業活動、更なるアフターサービスの充実に努めてまいります。また、当社の強みでもある自動機器を中心とした食品加工場への営業や、ホテル・病院・老人福祉施設等の大型物件への営業、新規顧客への積極的な営業、出展する展示会のフォロー営業活動等により、受注機会確保に努めてまいります。

「食」には人を笑顔にし、幸せにするパワーがあります。この素晴らしいパワーを持つ「食」に関われる喜びと誇り、皆様に満足していただける「食」をプロデュースしたいとの願いは、1951年の創業以来、変わることなく受け継がれてきました。これからもお客様のご要望に寄り添い、より良いご提案が出来るよう社員の育成にも取り組んでまいります。

今、調理を取り巻く環境は、美味しさの追求だけにとどまらず、安心・安全等様々な対応を求められています。常に時代のニーズに応えるべく、今後も企業努力を重ね、「食文化」の現場により深く関わり、社会からより求められる企業へとさらに邁進していく所存です。

またリスク管理とコンプライアンスの強化を図り、正確かつ十分な経営情報を適時ご提供し、経営の透明性を維持してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



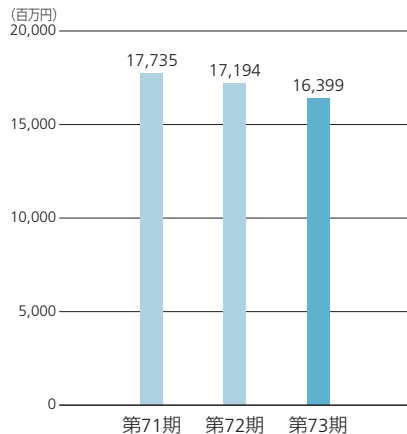
代表取締役社長

北川 正樹

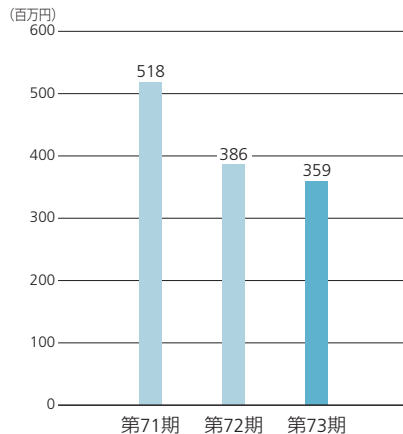
2020年6月

▶ 連結主要財務指標

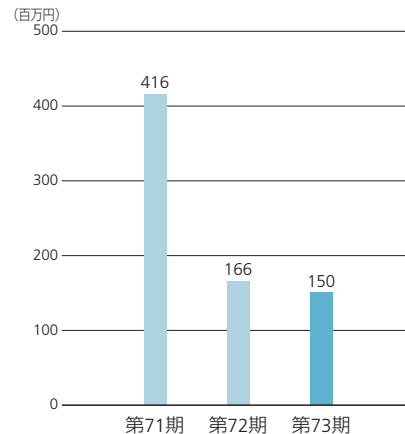
売上高



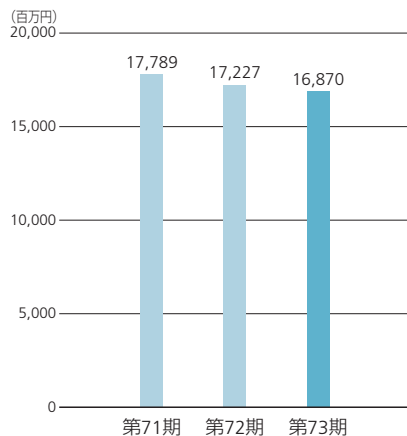
経常利益



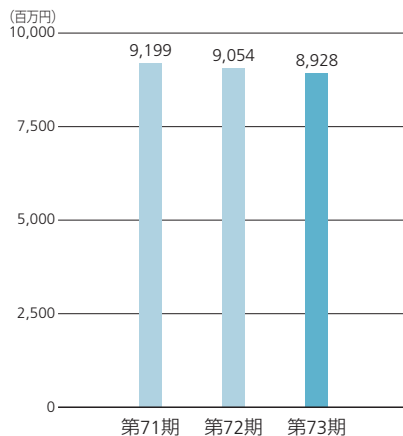
親会社株主に帰属する当期純利益



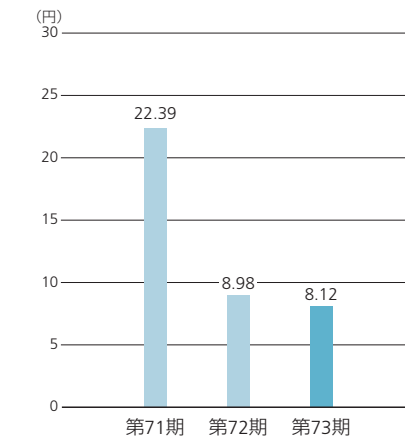
総資産



純資産



1株当たり当期純利益



プレパレーションライン

下ごしらえ用機器

シンク、作業台、食器戸棚をはじめ、野菜調理機やみじん切り専用フードカッター、ポテトの皮むき用ピーラー、肉・ハム用各種スライサー、チョッパー、洗米機など、食材の持ち味を生かす下ごしらえをしっかりとこなします。



コールドフーズライン

冷凍・冷蔵保管用機器

強力ファンと大型冷却器で急速冷却できるブラストチラーや耐久性・デザイン性に優れた冷蔵庫・冷凍庫・冷凍冷蔵庫。高い製氷能力を実現する製氷機など、食材の鮮度を厳しく管理する冷凍・冷蔵保管用機器です。



ホットフーズライン

加熱調理用機器

省エネ・安全性・使いやすさを追求したフライヤー、ガスレンジ、ガステーブルをはじめ、スープ専用レンジや麺類をゆでるスーパーケトルや焼き物に便利なコンベクションオーブン、最新の調理方法に必要なマルチッカーなど、加熱調理に威力を発揮します。



サニタリーライン

洗浄・保管用機器

食器洗浄機をはじめ、容器洗浄機や洗浄後の食器や容器を殺菌・消毒を兼ねて収納する食器消毒保管庫（電気・ガス・蒸気の3タイプ）など、洗浄から殺菌までをトータルにカバーします。



サービスライン

客席付近のサービス用機器

レギュラーコーヒーからエスプレッソまでを一台で抽出できるコーヒーマシンや安定した品質でお茶を提供できる給茶機。用途に合わせたレイアウトが可能なユーロストックなど、機能性を最優先に考えたサービス用機器です。



ベーカーズライン

製菓・製パン用機器

多種多様なスイーツメニューを一台で焼き分けるパティスリーオープンや、菓子パンからフランスパンまで、ふっくらと焼きあげるスーパーオープン。コンパクトタイプながら便利な機能満載のコンベクションオーブン、バイクマスターなど製菓・製パン用機器です。



マスフーズライン

大量調理用機器

上下から炎で加熱するコンベアー方式の連続自動焼物機、すしご飯や揚げ物などを素早く常温に冷やす真空高速冷却機をはじめ、連続自動フライヤーや連続自動炊飯器、レオニーダーなど、スピーディな大量調理にぴったりの省力化機器です。



家庭用キッチン

オーダーメイドキッチン

お客様のご要望に合わせた家庭用オーダーキッチンの設計・製作。ステンレスキッチンはもちろん、木を使ったナチュラルなキッチンなど幅広い素材とデザインに対応。また、厨房機器メーカーとしてのノウハウを詰め込んだハイカラーレンジやプロシューマーオープンなど、プロ仕様の製品を家庭用にアレンジし独自の強みを生かしたオリジナル製品も発表しています。



「水」と「油」のフライヤー



フライヤー「WAO」は、水を使用した独自の油濾過システムにより油の酸価値を低く抑え、常に新鮮な油で揚げること、高品質なフライを可能としました。美味しさを追求するプロフェッショナルの皆様方にお勧めする高性能フライヤーです。



炭火と同様の遠赤外線効果を発揮



新型の焼き物機「いぶし銀+」は遠赤外線をわずか5秒で焼成温度まで上昇させる立ち上がりの早さが特長で、調理効率・ランニングコストに貢献します。独自の焼成システムはオプションの炭・わら・松葉・さくら等の風味をプラスして焼きあげることが可能。（※特許出願中）炭火同様の焼きあがりと風味を簡単に作ることができます。



プロの厨房に憧れるすべての人へ 家庭用キッチンブランド“ホームシェフ”

HOME CHEF

日本中の美味しい店を知っているプロの厨房機器メーカー北沢産業が「料理好きな人へ」「おもてなし好きな人へ」「プロの厨房に憧れるすべての人へ」提案する家庭用オーダーメイドキッチンです。当社の業務用厨房機器の経験を生かしながら、料理好きの願いを実現します。



H CJ2020（三展合同展示会）

2020年2月18日（火）～21日（金）
幕張メッセにて開催されました。



2020年2月18日（火）～21日（金）幕張メッセにて開催されましたH CJ2020（第48回国際ホテル・レストラン・ショー、第41回フード・ケータリングショー、第20回厨房設備機器展）に本年も出展し、盛況のうちに終了いたしました。開催4日間の来場者数は、新型コロナウイルスの影響で前年に比べ若干の落ち込みとなりましたが、画期的な調理機器を前面に押し出し、アピールすることで、当社ブースは常に人だかりの絶えないに

ぎやかな空間となっていました。

水と油のフライヤー「WAO」による、見た人すべてが足を止めてしまう斬新で画期的なメカニズム、最新式の全自動コーヒーマシンやスタイリッシュなオープンが立ち並ぶカフェコーナー、見るものを圧倒する、巨大なア라운드式食器洗浄機や食器回転棚など多くの魅力的な機器を展示し、当社ブースは終始大いに盛り上がりました。

SMTS2020（スーパーマーケットトレードショー）

2020年2月12日（水）～14日（金）
幕張メッセにて開催されました。



2020年2月12日（水）～14日（金）幕張メッセにて開催されました。SMTS2020（スーパーマーケットトレードショー）は今年初めての出展となりましたが、新型フライ

ヤー「WAO」によるショー形式の実演と、熟練のスタッフによるわかりやすい説明で、当社ブースは笑顔と話し声の絶えない、にぎやかな空間となっていました。

■ 連結貸借対照表

科 目	当連結会計年度 (2020年3月31日)	前連結会計年度 (2019年3月31日)
資 産 の 部		
流動資産	8,583,088	9,193,033
固定資産	8,287,128	8,034,893
有形固定資産	5,702,144	5,388,601
無形固定資産	232,099	102,773
投資その他の資産	2,352,884	2,543,518
資産合計	16,870,217	17,227,926

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (2020年3月31日)	前連結会計年度 (2019年3月31日)
負 債 の 部		
流動負債	6,625,751	6,939,424
固定負債	1,316,452	1,233,578
負債合計	7,942,204	8,173,002
純 資 産 の 部		
株主資本	8,300,602	8,242,737
資本金	3,235,546	3,235,546
資本剰余金	2,965,130	2,965,130
利益剰余金	3,042,328	2,984,324
自己株式	△942,403	△942,264
その他の包括利益累計額	627,410	812,187
その他有価証券評価差額金	628,892	786,001
退職給付に係る調整累計額	△1,481	26,185
純資産合計	8,928,012	9,054,924
負債純資産合計	16,870,217	17,227,926

POINT 1

資 産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、85億83百万円となりました。これは主に現金及び預金5億41百万円及び受取手形及び売掛金2億78百万円の減少と商品1億37百万円の増加が相殺されたものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、82億87百万円となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)2億84百万円及び無形固定資産その他に含まれる特許権1億2百万円の増加と長期預金1億円の減少が相殺されたものです。

POINT 2

負 債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.5%減少し、66億25百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金2億77百万円の減少によるものです。

固定負債は前連結会計年度末と比べて6.7%増加し、13億16百万円となりました。これは主に長期未払金87百万円の増加と退職給付に係る負債5百万円の減少が相殺されたものです。

POINT 3

純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、89億28百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金1億57百万円の減少と利益剰余金58百万円の増加が相殺されたものです。

■連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (2019年4月 1日から 2020年3月31日まで)	前 期 (2018年4月 1日から 2019年3月31日まで)
売上高	16,399,312	17,194,734
売上原価	12,278,817	13,022,071
売上総利益	4,120,495	4,172,663
販売費及び一般管理費	3,819,117	3,843,349
営業利益	301,377	329,314
営業外収益	69,026	68,322
営業外費用	11,152	11,213
経常利益	359,251	386,424
特別利益	273	49,578
特別損失	30,020	70,409
税金等調整前当期純利益	329,504	365,593
法人税、住民税及び事業税	166,262	185,546
法人税等調整額	12,283	13,174
当期純利益	150,958	166,871
親会社株主に帰属する当期純利益	150,958	166,871

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (2019年4月 1日から 2020年3月31日まで)	前 期 (2018年4月 1日から 2019年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,092	887,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△682,128	△419,249
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,093	△92,980
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△641,130	375,667
現金及び現金同等物の期首残高	4,455,172	4,079,505
現金及び現金同等物の期末残高	3,814,042	4,455,172

POINT 4

営業活動によって得られた資金は、1億34百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上額3億29百万円及び売上債権の減少額2億78百万円と、仕入債務の減少額2億77百万円及び法人税の支払額1億13百万円の支出によるものです。

投資活動によって使用した資金は、6億82百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5億56百万円、投資有価証券の取得による支出62百万円の支出によるものです。

財務活動によって使用した資金は、93百万円となりました。これは主に、配当金の支払額92百万円によるものです。

■連結株主資本等変動計算書（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	3,235,546	2,965,130	2,984,324	△942,264	8,242,737	786,001	26,185	812,187	9,054,924
当期変動額									
剰余金の配当			△92,954		△92,954				△92,954
親会社株主に帰属する当期純利益			150,958		150,958				150,958
自己株式の取得				△139	△139				△139
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△157,109	△27,667	△184,776	△184,776
当期変動額合計	—	—	58,004	△139	57,865	△157,109	△27,667	△184,776	△126,911
当期末残高	3,235,546	2,965,130	3,042,328	△942,403	8,300,602	628,892	△1,481	627,410	8,928,012

会社概要 (2020年3月31日現在)

商 号	北沢産業株式会社
創 業	1951年3月28日
本 社 所 在 地	〒150-0011 東京都渋谷区東二丁目23番10号 電話 (03) 5485-5111 (代表) https://www.kitazawasangyo.co.jp
資 本 金	32億3,554万6,415円
従 業 員	480名 (連結)
事 業 内 容	1. 揚物調理機の製造ならびに販売 2. 厨房器具の製造ならびに販売および厨房設備の工事請負 3. 調理機械器具の製造ならびに販売 4. 冷凍ケース・冷蔵庫および保温ケースの製造ならびに販売 5. プロパンガスおよびその他燃料の販売 6. 生鮮および加工食品の販売 7. 油脂および洗剤の製造ならびに販売 8. 製缶および板金加工請負・左記を主体とする製品の販売 9. 不動産の賃貸 10. 科学器械の製造ならびに販売 11. レジャー用品の製造ならびに販売 12. 家具の販売 13. 内装仕上り工事の設計、施工請負および監理 14. 前各号に附帯する一切の業務

取 引 銀 行 株式会社北陸銀行
株式会社横浜銀行
株式会社三井住友銀行
株式会社三菱UFJ銀行

取締役および監査役 (2020年6月29日現在)

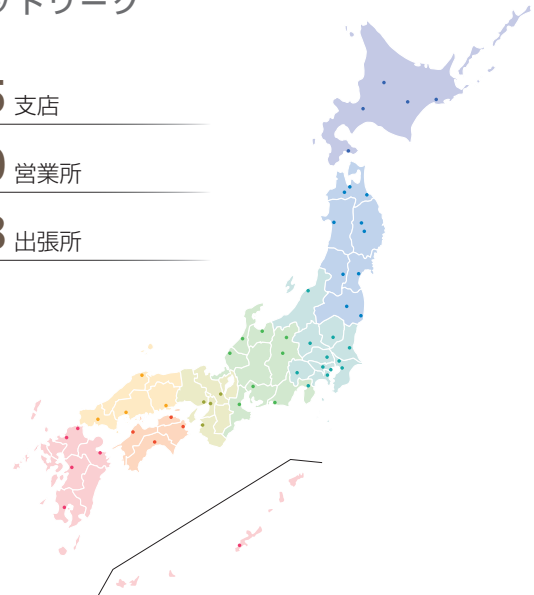
代表取締役会長	尾 崎 光 行
代表取締役社長	北 川 正 樹
常 務 取 締 役	酒 井 保太郎
取 締 役	石 塚 洋
取 締 役	小 山 栄 樹
取 締 役	神 田 浩 徳
社 外 取 締 役	青 木 茂 男
社 外 取 締 役	山 田 正 人
常 勤 監 査 役	相 原 貫 二
社 外 監 査 役	藤 森 一 喜
社 外 監 査 役	井 上 晴 孝
社 外 監 査 役	納 谷 全一郎

ネットワーク

15 支店

30 営業所

8 出張所



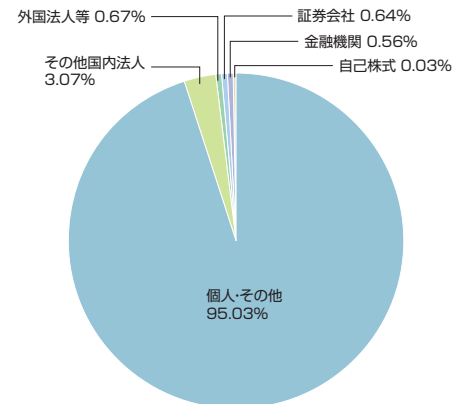
株式の状況（2020年3月31日現在）

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	23,818,257株
株主数	3,420名
大株主	

株主名	持株数（千株）	持株比率（％）
株式会社光通信	1,680	9.04
北沢持株会	1,621	8.72
北沢産業従業員持株会	934	5.03
株式会社北陸銀行	921	4.95
フクシマガリレイ株式会社	778	4.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	635	3.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	478	2.57
株式会社ブロードビーク	399	2.15
株式会社インテリックス	370	1.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	307	1.66

（注）当社は、自己株式5,227,945株を保有しておりますが、上記大株主より除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主の分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 3月31日

中間配当基準日 9月30日

公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページアドレス
<https://www.kitazawasangyo.co.jp>

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

（郵便物送付先） 〒168-8620
お問合せ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843（フリーダイヤル）

各種手続のお申出先

- ・ 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・ 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
（一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。）



<https://www.kitazawasangyo.co.jp>

北沢産業株式会社

本社／〒150-0011 東京都渋谷区東二丁目23番10号
(03) 5485-5111 (代)

